

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成22年5月20日(2010.5.20)

【公表番号】特表2009-533472(P2009-533472A)

【公表日】平成21年9月17日(2009.9.17)

【年通号数】公開・登録公報2009-037

【出願番号】特願2009-505614(P2009-505614)

【国際特許分類】

A 6 1 K 31/517 (2006.01)

A 6 1 K 31/519 (2006.01)

A 6 1 K 45/00 (2006.01)

A 6 1 P 43/00 (2006.01)

A 6 1 P 35/00 (2006.01)

【F I】

A 6 1 K 31/517

A 6 1 K 31/519

A 6 1 K 45/00

A 6 1 P 43/00 1 2 1

A 6 1 P 35/00

A 6 1 P 43/00 1 1 1

【手続補正書】

【提出日】平成22年3月31日(2010.3.31)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

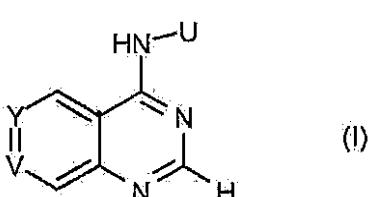
【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

治療上有効な量の(i)式(I)

【化1】



[式中、

YはCR¹であり、かつVはNであり；

またはYはCR¹であり、かつVはCR²であり；

R¹は、基CH₃SO₂CH₂CH₂NHCH₂-Ar-を表し、そこにおいて、Arは、フェニル、フラン、チオフェン、ピロールおよびチアゾールより選択され、それらはそれぞれ場合により1または2個のハロ、C₁₋₄アルキルまたはC₁₋₄アルコキシ基により置換されていてもよく；

R²は、水素、ハロ、ヒドロキシ、C₁₋₄アルキル、C₁₋₄アルコキシ、C₁₋₄アルキルアミノおよびジ[C₁₋₄アルキル]アミノを含む群より選択され；

Uは、フェニル、ピリジル、3H-イミダゾリル、インドリル、イソインドリル、インドリニル、イソインドリニル、1H-インダゾリル、2,3-ジヒドロ-1H-インダゾリル、1H-ベンズイミダゾリル、2,3-ジヒドロ-1H-ベンズイミダゾリルまたは1H-ベンゾトリアゾリル基を

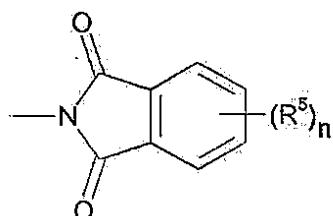
表し、それらはR³基により置換されており、かつ場合により少なくとも1個の独立して選択されるR⁴基により置換されており；

R³は、ベンジル、ハロ-、ジハロ-およびトリハロベンジル、ベンゾイル、ピリジルメチル、ピリジルメトキシ、フェノキシ、ベンジルオキシ、ハロ-、ジハロ-およびトリハロベンジルオキシならびにベンゼンスルホニルを含む群より選択され；

またはR³はトリハロメチルベンジルまたはトリハロメチルベンジルオキシを表し；

またはR³は、式

【化2】



(式中、それぞれのR⁵は独立して、ハロゲン、C₁₋₄アルキルおよびC₁₋₄アルコキシより選択され；かつnは0~3である)

の基を表し；

それぞれのR⁴は独立して、ヒドロキシ、ハロゲン、C₁₋₄アルキル、C₂₋₄アルケニル、C₂₋₄アルキニル、C₁₋₄アルコキシ、アミノ、C₁₋₄アルキルアミノ、ジ[C₁₋₄アルキル]アミノ、C₁₋₄アルキルチオ、C₁₋₄アルキルスルフィニル、C₁₋₄アルキルスルホニル、C₁₋₄アルキルカルボニル、カルボキシ、カルバモイル、C₁₋₄アルコキシカルボニル、C₁₋₄アルカノイルアミノ、N-(C₁₋₄アルキル)カルバモイル、N,N-ジ(C₁₋₄アルキル)カルバモイル、シアノ、ニトロおよびトリフルオロメチルである]

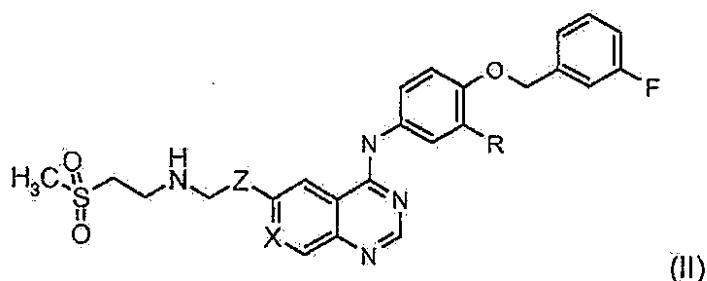
の化合物またはその塩もしくは溶媒和物；および

(ii) 少なくとも1種のIGF-1R阻害剤を含む、癌治療用の組合せ製剤。

【請求項2】

治療上有効な量の(i)式(II)：

【化3】



[式中、Rは-Clまたは-Brであり、XはCH、N、またはCFであり、かつZはチアゾールまたはフランである]

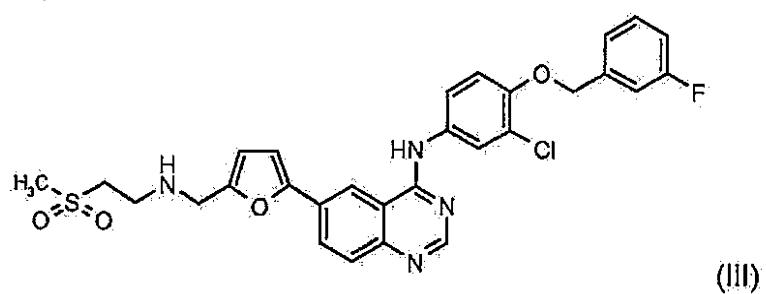
の化合物またはその塩もしくは溶媒和物；および

(ii) 少なくとも1種のIGF-1R阻害剤を含む、癌治療用の組合せ製剤。

【請求項3】

治療上有効な量の(i)式(III)：

【化4】



の化合物またはその塩もしくは溶媒和物；および

(ii) 少なくとも1種のIGF-1R阻害剤を含む、癌治療用の組合せ製剤。